

長久手市行政評価票

事業番号	26	事業の名称	防災訓練実施事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	安心安全課					
基本方針		分野別項目		施策の進め方		フラッグ	F2「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～					
						フラッグ項目	(47)MJMの推進(M=まちは J=自分で M=守る)					
事業の概要	市民1人1人が防災意識を高めるとともに、関係機関等の連携を確認し、今後懸念される大地震で被害を最小限に抑えることを目的とする。 市民に防災意識を高めていただくため、企画段階から市民や防災関係機関等に関わっていただき、市内一斉に避難訓練や避難所運営訓練を市民参加型で行う。また市役所は災害対策本部を立ち上げるとともに、会場となる避難所との情報伝達訓練などを行い、市民、関係機関、行政が連携した訓練とする。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市、東郷町で同様の訓練を実施。尾張旭市では、自主防災組織に救助救出訓練に参加していただいたり、消防・警察・自衛隊などが連携して事前に訓練内容を知らせずに行うブラインド訓練を実施している。日進市では、地区の訓練を持ち回りで実施している。 また、みよし市では1つの中学校区で市主導の総合防災訓練を行うほか、その他の地区では自主防災会が中心となり個別に自主的な防災訓練を実施している。 岡崎市では、過去の災害の教訓から、全市一斉の防災訓練を行い、全ての避難所を開設し、市民は避難訓練や避難所運営訓練を実施している。						
事業期間	事業開始年度	不明	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、ボランティア団体					うち	一般財源	935	856	848	566	1,034
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民や各種団体、市職員それぞれの立場で防災意識を高め、災害時に応急対応を行うことができるようにする。						国費・県費					
							地方債					
						その他						
						受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
										H26予算	H26決算			
① 市内一斉防災訓練 実施事業	市民、市職員、 企業、 消防・防災 関連団体、 ボランティア 団体	4月～ 7月～ 10月～ 1月～ →	総合防災訓練に市民 の参加を呼び掛け、 防災意識を高める。	参加者 3,349人	訓練参加者数	3,327 3,349 3,500	人	住民 長小1,000 西小300 東小400 北小600 南小500 市が洞300 団体及び市職員400	935 848 1,034	856 566	防災訓練に使用する 啓発品、事務用品等 566千円	A 拡充 増加	市民、市職員、関係機関等が連携し 防災訓練を実施できた。参加者からの要 望・改善案などを検証し、今後も地域の 防災力を向上させる為、実践的な防災 訓練を開催していきたい。	
②														
③														
④														

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	